



**Let's create
a new school
together.**

武生東島高等学校

普通科と国際科の強みを活かして、新大学入試制度への対応を深化させた

学際フロンティア学科

に再編します

新しい大学入試：

従来までのような知識の量を確認するための試験ではなく、学校で身につけた知識を活用して『自分から課題を見つけ、その答えや新しい価値を生み出す』形に変化

言葉の意味

〔学際〕いくつかの異なる学問分野がかかわること。

〔フロンティア〕未開拓の分野。最前線

学際フロンティア学科は、「未開の自分を開拓し、未来の自分を切り拓く学科」として、急激な社会変化の中で生き抜くために必要な資質・能力を育成する新時代を見据えた学科です。

学際フロンティア学科での学び

1

「1年次」について

・自分の考えを相手にわかりやすく伝える

専門科目『ディベート・ディスカッション』をはじめ、全ての授業で自分の考えをまとめ・発信する時間が組み込まれます。

・英語をツールとして活用できる

週7時間の英語関係授業を設定し、国際科で培ったノウハウを活かして、ツールとして活用できる英語力を育成します。英語が得意でない人でも、この1年間で大きく成長します。

・複数の視点から課題を分析する

本校の学びの大黒柱・探究活動『Hino・Quest』によって、「SDGs」「異文化理解」「ビッグデータ活用」等の基礎を学びます。探究活動の時間は他校に比べ約5割増の時間を確保しています。『公共』『家庭』『情報』の授業を連携させ、消費者教育・主権者教育などこれからの社会を担う生徒に必要な知識を様々な角度から学びます。

・自身の責任で次(2・3年次)の学びの場を選択

2年次から理工系、地域探究系、語学・海外系の、どの分野に軸足を置いて学びを深めていくかを1年次の秋までに決めていきます。



希望や適性により3つのコースに分かれます。

フューチャーサイエンスコース（理数探究）

将来、大学や研究機関で実験・実習を進めていく人材を目指す方々のコースです。従来の理数科で学ぶような授業を展開するとともに、理数系科目の教材に英語論文を用いるなど、大学進学後に留学生や研究者との議論するための基礎を学びます。

進路先 工学部 理学部 農学部 看護学部 医歯薬系学部 教育学部（理数系）等

フューチャークエストコース（地域探究）

地域の課題探究を中心に活動し、課題の解決策を提案するだけでなく実践することを目指します。大学進学後も継続的に探究活動を続けていけるよう、大学との連携を進めるとともに、行政や地域のコミュニティとの連携も深めます。

進路先 法学部 経済部 文学部 看護学部 外国語学部 国際系学部 芸術系学部
教育学部（文科系）等

グローバルコース（海外留学進学）

姉妹校のあるニュージーランド、オーストラリアとの毎夏の相互訪問交流、シンガポールでの語学研修（ホームステイ有）ばかりでなく、定期的なオンラインでの海外交流先はオセアニア・アジア・北米・中米・アフリカとバラエティに富んでいます。

進路先 国内大学および海外大学
フューチャークエストコースと同じ分野に進学可能であり、国際系、外国語学部進学には特に有利

“学際” 的・“フロンティア” 的な学校行事

「高校生国際会議 (World Happiness Forum) R3.9 開催」

武生東高主催で、世界(10ヵ国以上)の高校生が、「豊かさ・幸せ・未来」について議論を深めあう全国でも例のないイベントです。

自分が取り組んだ地域課題探究を世界に発信し、多様な視点で意見交換していく過程で、視野を広げることが可能です。



「高校生活前半の成果を確認する研修旅行」

2年秋に予定している研修旅行は、自分の考えを発信するツールとしての英語がどれだけ身についたか、探究活動にどれだけ深まりが見られたかを図る絶好の機会です。

全生徒が、それぞれ国内・海外の複数コースから研修先を選択して旅行先を決定します。「理工系を選択しているから、海外はダメ！」ではなく、「視野を広げて、複数の学びを繋ぐために海外での研修が必要だから海外研修に参加する！」のように、自分自身で選択します。



学際的で最前線(フロンティア)の学びを深めるための環境整備

① 一般教室や各種専門教科実験・演習室以外に**少人数指導用研修室6室と自学自習用ルーム**を準備。

② **オンライン交流ルーム**を新設。海外姉妹校との定期的な交流のほか、高校生国際会議のメイン会場としても活用します。

③ **オンライン授業スタジオ**を新設。大学連携による大学教授陣によるオンライン授業が受講しやすい環境となるほか、緊急時(臨時休校等)のオンライン授業配信にもいち早く対応します。

④ **自主学修の時間(学びタイム)**の設定。1週間の授業時間を従来35時間だったところを32時間に削減浮いた時間をそれぞれが自分自身で学びたいことを深めていく自主学修の時間とし、各自が計画・実行します。

本人の意思により習い事や部活動に励むことも可

